

薬剤耐性 *Helicobacter pylori* の全国サーベイランス

1. 研究の対象

2013年4月1日から2020年3月31日までの間に上部消化管内視鏡検査時にピロリ菌検査用の検体を採取された方

2. 研究目的・方法

わが国では2000年11月から、胃・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）感染に対して、2種類の抗生剤と1種類の胃薬を併用する除菌治療が保険適用となりましたが、近年その除菌率が低下したため、2007年8月から1種類の抗生剤を置き換える二次除菌療法が保険適用となりました。

除菌治療が不成功となる主因は、ピロリ菌の薬剤耐性です。ピロリ菌は胃潰瘍・十二指腸潰瘍の原因にとどまらず、胃癌、MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病や慢性蕁麻疹などの原因も指摘されており、それに伴い、現在ではピロリ菌感染症全例に除菌治療が検討されます。

ピロリ菌の適正な治療を行うにあたり、薬剤耐性菌に対する状況は把握しておく必要があり、今回耐性菌サーベイランスを行い、各抗生剤を中心とした薬剤耐性率の成績を集計することを目的としました。

研究期間は2020年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

胃生検材料から培養されたピロリ菌の薬剤感受性試験の結果、過去の除菌歴及び治療結果のデータなど

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究責任者	大分大学消化器内科学講座	教授	村上 和成
参加施設	大分大学消化器内科学講座	大阪市立総合医療センターほか	
【公開先】	大分大学医学部消化器内科学講座ホームページ		

URL : <http://www.med.oita-u.ac.jp/shoukaki/>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院における研究責任者氏名：根引浩子

連絡先：地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通 2-13-22

電話 06-6929-1221

研究代表者：

大分大学消化器内科学講座

教授

村上 和成